

第5章図形の性質と証明

1 節三角形

4 直角三角形の合同の証明_解答

1 右の図で、 $\angle AOP = \angle BOP$ となる点 P をとる。点 P から OX , OY に垂線を PA , PB をひくと、 $OA = OB$ であることを証明しなさい。

(仮定) $\angle AOP = \angle BOP$, $\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ$

(結論) $OA = OB$

(証明) $\triangle OAP$ と $\triangle OPB$ において

仮定 より $\angle AOP = \angle BOP \cdots ①$

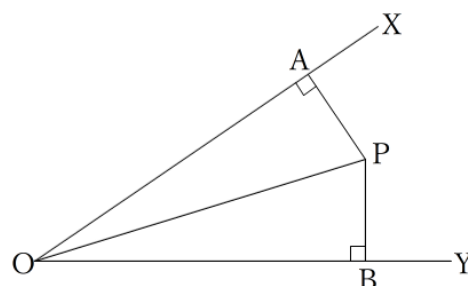
$\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ \cdots ②$

共通 な辺より $OP = OP \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、

$\triangle OAP \cong \triangle OPB$

ゆえに、 $OA = OB$



2 右の図で、 $\angle XOY$ 内の点 P から OX , OY にひいた垂線を PA , PB とする。このとき $PA = PB$ ならば $\angle AOP = \angle BOP$ であることを証明しなさい。

(仮定) $\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ$, $PA = PB$

(結論) $\angle AOP = \angle BOP$

(証明) $\triangle OAP$ と $\triangle OBP$ において

仮定 より $\angle OAP = \angle OBP = 90^\circ \cdots ①$

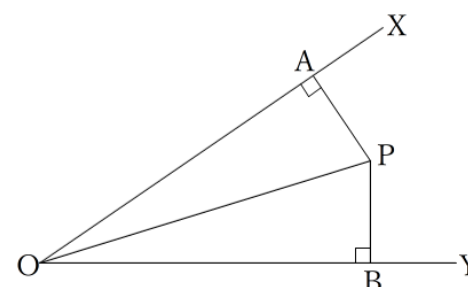
$PA = PB \cdots ②$

共通 な辺より $OP = OP \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の斜辺と他の1辺がそれぞれ等しいので、

$\triangle OAP \cong \triangle OBP$

ゆえに、 $\angle AOP = \angle BOP$

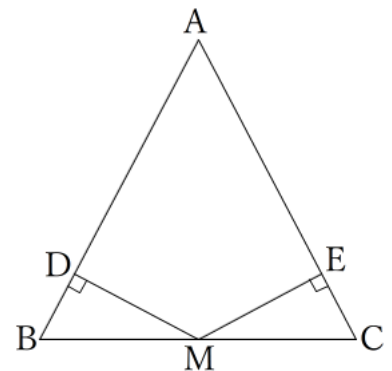


第5章図形の性質と証明

1 節 三角形

4 直角三角形の合同の証明_解答

[3] 右の図で、 $\triangle ABC$ は BC を底辺とする二等辺三角形である。
 $BM=CM$ となる点 M を底辺 BC 上にとり、点 M から AB , AC にひいた垂線を MD , ME とする。このとき、 $DB=EC$ となることを証明しなさい。



(仮定) $BM=CM, \angle BDM=\angle CEM=90^\circ$

(結論) $DB=EC$

(証明) $\triangle MBD$ と $\triangle MCE$ において

仮定より $BM=CM \cdots ①$

$\angle BDM = \angle CEM = 90^\circ \cdots ②$

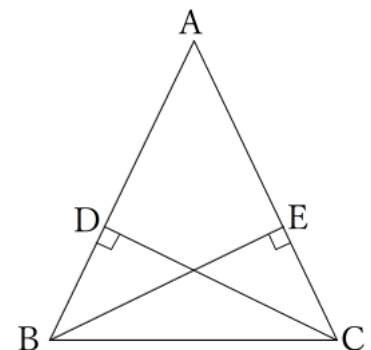
二等辺三角形の底角は等しいので $\angle MBD = \angle MCE \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、

$\triangle MBD \cong \triangle MCE$

ゆえに、 $DB=EC$

[4] 右の図で、 $\triangle ABC$ は $AB=AC$ の二等辺三角形である。 $AB \perp CD$,
 $AC \perp BE$ ならば $AE=AD$ であることを証明しなさい。



(仮定) $AB=AC, \angle AEB=\angle ADC=90^\circ$

(結論) $AE=AD$

(証明) $\triangle ABE$ と $\triangle ACD$ において

仮定より $AB=AC \cdots ①$

$\angle AEB = \angle ADC = 90^\circ \cdots ②$

共通な角より $\angle BAE = \angle CAD \cdots ③$

①, ②, ③より直角三角形の斜辺と1つの鋭角がそれぞれ等しいので、

$\triangle ABE \cong \triangle ACD$

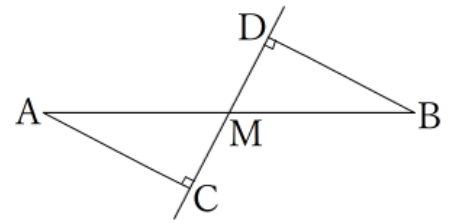
ゆえに、 $AE=AD$

第5章図形の性質と証明

1 節 三角形

4 直角三角形の合同の証明_解答

[5] 右の図で、線分 AB の中点を M とする。M を通る直線に $AC \perp CD$, $BD \perp CD$ となるように C, D をとる。このとき、 $AC = BD$ であることを証明しなさい。



(仮定) $AM = BM$, $\angle ACM = \angle BDM = 90^\circ$

(結論) $AC = BD$

(証明) $\triangle ACM$ と $\triangle BDM$ において

仮定 より $AM = BM \cdots ①$

$\angle ACM = \angle BDM = 90^\circ \cdots ②$

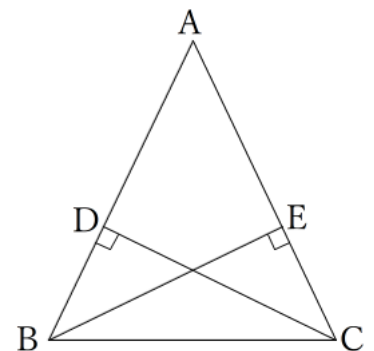
対頂角 は等しいので $\angle AMC = \angle BMD \cdots ③$

①, ②, ③ より直角三角形の 斜辺と1つの鋭角 がそれぞれ等しいので、

$\triangle ACM \cong \triangle BDM$

ゆえに、 $AC = BD$

[6] 右の図で、 $BD = CE$, $\angle BDC = \angle CEB = 90^\circ$ となるように点 D, E を AB, AC 上にとる。このとき、 $\triangle ABC$ は二等辺三角形であることを証明しなさい。



(仮定) $BD = CE$, $\angle BDC = \angle CEB = 90^\circ$

(結論) $\triangle ABC$ は二等辺三角形

(証明) $\triangle BDC$ と $\triangle CEB$ において

仮定 より $BD = CE \cdots ①$

$\angle BDC = \angle CEB = 90^\circ \cdots ②$

共通 な辺より $BC = CB \cdots ③$

①, ②, ③ より直角三角形の 斜辺と他の1辺 がそれぞれ等しいので、

$\triangle BDC \cong \triangle CEB$

ゆえに、 $\angle DBC = \angle ECB$

よって三角形の 2角 が等しいので $\triangle ABC$ は 二等辺三角形 である